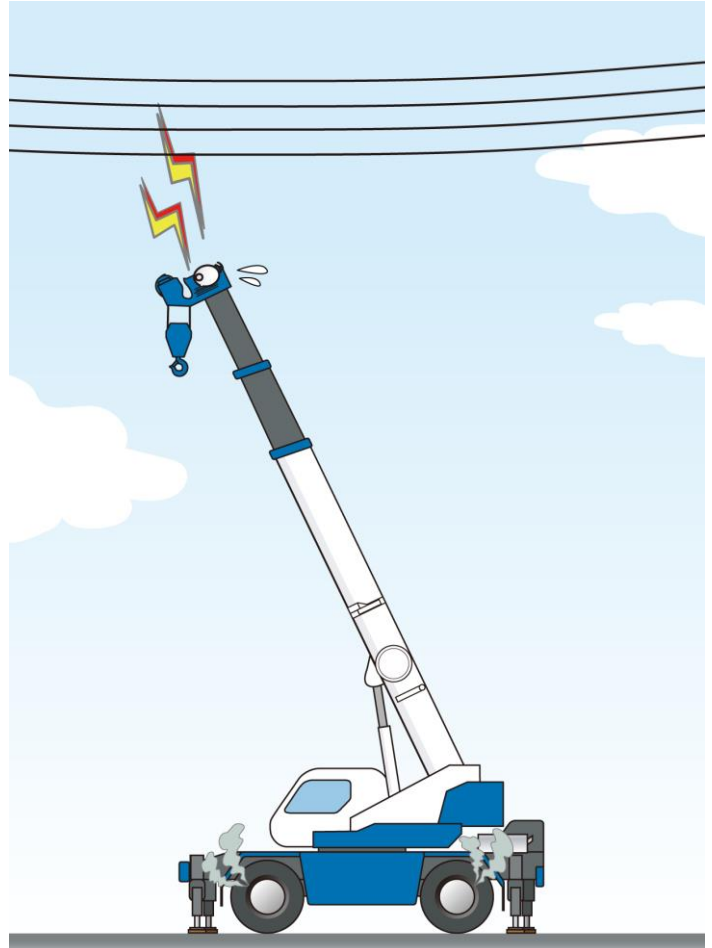


事故事例

高圧電線による感電事故

事故発生状況

高圧電線の下でクレーン作業中、ブーム先端と高圧電線の間で火花が発生した。ブームを縮小させて運転手が退避する時、タイヤから煙が出ており、しばらくするとタイヤが破裂した。



原因

高圧電線にブームを近づけ過ぎたことによる感電。

※高圧の電気がタイヤを通して地絡した。

対策

電線の近くで作業するときは、必ず隔離距離を確認する。

隔離距離(参考:電力会社の目標値)

| 電圧 | | 隔離距離 |
|------|-----------|------|
| 低圧 | 100V,200V | 2m |
| 高圧 | 6,600V | |
| 特別高圧 | 22,000V | 3m |
| | 66,000V | 4m |
| | 154,000V | 5m |
| | 187,000V | 7m |
| | 275,000V | 10m |
| | 500,000V | 11m |

電圧によっては電線に近づいただけで感電することがあります。やむを得ず電線の近くで作業を行うときは、あらかじめ電力会社と打ち合わせを十分に行い、安全上必要な対策を講じてください。

万一感電した場合、非常に危険な状態になっています。電線から十分に離す、送電を停止するなど、二次災害防止の措置を必ず行ってください。※詳細については取扱説明書を参照してください。